

2010年8月27日

2010年京都造形藝術大學 暑期研習的報告

個人從7月8日到22日帶領本校10名學生，前往京都造形藝術大學，進行兩週的研習活動。這次的研習活動是台中技術學院應用日語系，和商業設計系共同參予。經由校內招考，選出應用日語系和商業設計系學生各5名。除了到日本的大學聽課之外，還可以直接親自體驗日本的傳統藝術，獲得寶貴的經驗。以下是本次參加研習活動同學的名單、詳細行程，及研習活動內容，最後是考察心得報告。

1 參加研習活動同學的名單

應用日語系	曾瑀綺
	周佩君
	林佩青
	陳舒婷
	方凱盈
商業設計系	陳幸穗
	張惠茜
	李佳玘
	黃冠瑜
	呂季耘

2 詳細行程

研習地點：京都造形藝術大學

〒606-8271

京都市左京区北白川瓜生山 2-116

(075)791-9122 (代表)

- 7月8日(四) 抵達京都造形藝術大學
- 7月9日(五) 參觀京都造形藝術大學、歡迎會
- 7月10日(六) 京都觀光
- 7月11日(日) 京都造形藝術大學公開校園體驗
- 7月12日(一) 到7月16日(五) 聽課以及學習茶道和日本鼓
- 7月17日(六)、7月18日(日) 自由活動
- 7月19日(一) 歡送會
- 7月20日(二) 21日(三) 觀摩學期成果發表會
- 7月22日(四) 歸國

3 研習活動內容

學生的居住地：

這次的研習活動是 10 名本校的學生，與京都造形藝術大學的日本人學生配對，居住在日本人學生所外宿的地方兩星期。

7月9日 由國際交流課的職員，帶領本校的學生參觀導覽校園。

7月10日 由招生宣傳課的吉田先生，帶領本校學生觀光京都，觀光了銀閣寺、哲學之道、清水寺等。

7月11日 是京都造形藝術大學的公開校園體驗日，所以當天本校的學生由配對寄宿的日本人學生陪同，一起參觀自己感興趣的課程及活動。招生宣傳課的吉田先生與學生面談之後，配合所開課程及學生的興趣，安排出學生得以上課的課程表。

7月12日到7月16日學生在京都造形藝術大學，和日本的大學生一起上課，也就是白天依據面談結果決定的課程，例如情報設計、廣告、電影影像、時裝、動畫腳色設計、美術工藝、裝飾品設計、和服設計、兒童藝術（遊戲設計）等。而晚上6點到8點，則參加茶道社團，學習茶道，以及聽日本鼓演奏，學習日本鼓，也被招待欣賞俄國音樂會的演出。

7月15日 正值京都的祇園祭典，去看了宵宵山（祭典活動之一），體驗日本三大祭典之一的祇園祭之氣氛。

7月17日和7月18日是自由活動。

7月19日元本也是自由活動，招生宣傳課的吉田先生特別籌畫帶大家去卡拉OK，並舉辦歡送會。

7月20日和21日在京都造形藝術大學的學生上學期成果發表會中，展覽了各式各樣的作品。本校學生也和日本人學生配對，觀摩學期成果發表會。

7月22日歸國

4 考察心得報告

這次與商業設計系共同舉辦了在京都造形藝術大學的研習活動，在進行這次的研習活動之前的6月4日（五），集合了10名學生在應用日語系3601教室舉辦研習說明會。其中確認了出發前要準備的事項及出發的時間，也確認了護照的有效期限及有無。

這次因為是寄宿家庭，所以指導學生在日本的禮節，並對用日語打招呼的重要性、要有禮貌，禮物的攜帶或是攜帶台灣、家人、學校的相片等做了說明。

台中技術學院的學生並非單純去觀光旅行，而是第一次在日本的大學聽課之外，還直接親自體驗日本的傳統藝術，並且是寄宿家庭。剛開始學生好像都很緊張，經過數日之後，漸漸就與寄宿的日本人大學生打成一片，而且也與京都造形藝術大學招生宣傳課的吉田先生逐漸融洽了。對多數學生而言，這次的研習活動都告訴我，她們認為「太棒了」「非常好」。對多數學生而言，幾乎全都是第一次。第一次的國外旅行，第一次在日本的大學上課，第一次的體驗傳統藝術，第一次和日本人學生生活等等。兩星期的逗留，看來是極為充實的寶貴經驗。

尤其，對應用日語系的學生而言，和平日在學校的上課不同，而是在日本的大學和日本人學生共同上課，也是具有挑戰的課題，正因如此，對能夠了解日本人教師的上課內容的成就感似乎就越大。因此，雖然只有兩星期得以在日本的生活體驗，我想應該是單純的觀光旅行所無法獲得的寶貴經驗。

商業設計系的學生有完全不懂日語，或只會幾個單字的，看到她們拼命地要把剛學會的日語盡快用上，而盡力地要和日本人學生溝通的情景。透過這次研習活動的契機，而對外國或日本有興趣我就很高興。

這次的逗留，還有一項我希望學生看到並學到的是祇園祭，這是日本三大祭典之一，有 1200 年的歷史，今年被聯合國指定為無形文化遺產的具有來歷的祭典。京都每年 7 月 14 日到 7 月 17 日舉辦此祭典，17 日當天 32 輛 14 噸之重祭神用的彩車，遊行京都市中心，觀看此祭典的有來自世界各地的觀光遊客。

我想因為在台灣沒有類似的祭典，所以是直接接觸日本傳統文化的好機會，而將這次的研習活動安排在這段時間，終得以實現此願望。

這次在京都造形藝術大學的研習活動，我想有五大收穫。1) 和日本人學生共同生活，2) 在日本的大學聽課，3) 親自體驗日本的藝術，4) 接觸日本的傳統文化，5) 獲得體驗在日本的生活。這些經驗對學生而言，不只是今後的學習，甚至是對將來都會有深遠的影響。

回國當天，寄宿家庭的日本人大學生，與本校的學生離情依依、淚流滿面的情景看來，這次的研習活動不單只是向日本學習，也是每一位學生和日本人學生心連心的國際交流。但願這些都將成學生的財產與成就，而對將來有所助益。

國立台中技術學院應用日語系

堂坂順子 助理教授 帶隊

京都造形藝術大學研習及傳統藝術體驗 學生錄取名單

應用日語系(科)

順序	班級	姓名	備註
1	日三 A	曾瑀綺	日本語レベル上級
2	日三 A	周佩君	日本語レベル上級

3	日三甲	林佩青	日本語レベル 初級上
4	外四甲	陳舒婷	日本語レベル中級
5	外四甲	方凱盈	日本語レベル中級

設計學群

順序	班級	姓名	備註
1	商設一 A	陳幸穗	日本語レベル初級 (基礎会話 ok)
2	商設三 A (二技 3A)	張惠茜	日本語レベル初級
3	商設三 A (二技 3A)	李佳珮	日本語学習経験 なし
4	商設研所 一年級	黃冠瑜	日本語学習経験 なし
5	商設研所 一年級	呂季耘	日本語能力検定試験 2級合格

2010年8月27日

2010年京都造形芸術大学夏期研修の報告

私はこのたび7月8日から22日まで学生10名を引率して京都造形芸術大学での2週間にわたる研修を行って参りました。この研修は台中技術学院応用日本語学科と商業デザイン学科の合同参加となり、応用日本語学科から5名の学生と商業デザイン学科から5名の学生が校内選考により選ばれて日本の大学で授業を聴講させていただいたり、また日本の伝統芸術にも直接肌で触れるという貴重な経験を得ることができました。以下、今回の研修に参加した学生リスト、くわしい日程とその活動内容、最後に考察を述べたいと思います。

1、参加学生リスト

応用日本語学科	曾瑀綺
	周佩君
	林佩青
	陳舒婷
	方凱盈
商業デザイン学科	陳幸穗
	張惠茜
	李佳玘
	黃冠瑜
	呂季耘

2、日程

研修先：京都造形芸術大学

〒606-8271

京都市左京区北白川瓜生山 2-116

(075)791-9122 (代表)

7月8日(木) 京都造形芸術大学到着

9日(金) 京都造形芸術大学を見学し、歓迎パーティー

10日(土) 京都観光

11日(日) 京都造形芸術大学オープンキャンパス

12日(月) から16日(金) まで授業を聴講し、その後茶道と和太鼓を学ぶ。

- 17日（土）から18日（日）自由行動
- 19日（月）お別れパーティー
- 20日（火）と21日（水）一学期成果発表会の見学

3、 活動内容

学生の滞在先について：

今回の研修に際し、本校の学生10名は京都造形芸術大学の日本人学生とペアになって、日本人学生の下宿先に2週間滞在させてもらった。

7月9日は国際交流課の職員の方が本校の学生にキャンパス見学のツアーをしてくださり、学校の視察を行った。

7月10日は入学広報課の吉田さんが本校の学生を京都観光に連れてくださり、銀閣寺や哲学の道、清水寺などを観光した。

7月11日は京都造形芸術大学のオープンキャンパスの日であったため、朝から学生と一緒に泊めてもらっている日本人学生とペアになって、学生の興味に応じていろいろな授業の見学をしたりイベントに参加させていただいた。入学広報課の吉田さんと学生が面談して翌日からの授業聴講にそなえ、学生の興味を聞いたうえで、学生が聴講できるクラスのリストを作成していただいた。

7月12日から16日までの日程で前日の面談で決まった授業は情報デザイン、広告、映画映像、ファッション(洋服のデザイン)、アニメキャラクターデザイン、子供芸術(ゲームのデザイン)などで、これらの授業を聴講し、夜6時から8時までは、茶道のサークルに参加させてもらって茶道を学んだり、和太鼓の演奏を聴いて、実演も教えていただいたり、ロシアのミュージシャンの演奏会にも招待していただいた。

7月15日は祇園祭の期間ということもあって、宵宵山にも行って、日本の三大祭りの一つである、祇園祭りの雰囲気味わった。

7月17日と18日は自由行動だった。

7月19日は自由行動の日でもあったが、入学広報課の吉田さんの

計らいで、カラオケにつれて行っていただき、そこで送別会となった。

7月20日と21日は京都造形芸術大学の学生による第一学期成果発表会でさまざまな作品の展示が行われ、本校の学生も日本人学生とペアになって成果発表会を見学させていただいた。

7月22日台湾へ無事に帰国した。

4、 考察

このたび、商業デザイン学科と合同で京都造形芸術大学での研修を行った。今回の研修を行うに先立ち、6月4日（金）に学生10名を集めて応用日本語学科3601教室において研修説明会を開催した。その中で、出発にあたっての準備内容や出発時間の確認を行い、パスポートの有効期限や有無についても確認した。

今回はホームステイということで、日本でのマナーを教え、日本語でのあいさつの大切さや礼儀正しさ、お土産の持参、台湾の写真や家族、学校の写真なども持参するように説明した。

台中技術学院の学生は観光旅行をするのではなく、初めて、日本の大学で授業を聴講し、日本の伝統芸術の体験学習、さらにはホームステイということで、最初は学生たちはかなり緊張していたようだが、日がたつにつれ、泊めてもらっていた日本人の大学生ともうちとけるようになり、また京都造形芸術大学、入学広報課の吉田さんとも打ち解けて、おおむね学生にとって、今回の研修は「すばらしかった」「とてもよかった」という言葉を私に話してくれた。ほとんどの学生にとって、初めてづくしのことが多く、初めての海外、はじめての日本の大学での授業、初めての伝統芸術体験、初めての京都観光、初めての日本人学生との生活など、この2週間の滞在は非常に充実したもののようだった。

特に、応用日本語学科の学生にとっては、普段の台中技術学院での授業と異なり、日本の大学で日本語で日本人の学生に混じって授業を受けるということはチャレンジングな課題ではあったが、その分、日本人教授の授業内容が理解できたことへの達成感は大きかったようだ。そして、わずか2週間ではあったが、日本で生活体験ができた、ということは観光旅行では得られない、貴重な

経験を得たと思う。

商業デザイン学科の学生たちは日本語はまったくわからなかったり、片言だけならわかる、という学生もいたが、すぐに覚えた日本語を早速使って、日本人学生とコミュニケーションを図ろうと必死に努力する姿が見られて、この研修をきっかけにして、日本や、外国にも興味を持ってくれればうれしいという気持ちを持って私もサポートした。

今回の滞在でもうひとつ、学生に見てもらいたい、学んでもらいたいと思っていたのに祇園祭がある。これは日本三大祭りの一つであり、1200年からの歴史を有し、今年、ユネスコ無形文化遺産に認定された由緒ある祭りである。京都では毎年7月14日から17日までこの祭りがおこなわれ、17日には14トンもある鉦や山車など32基が京都市の中心部を巡行する。日本人観光客だけでなく、世界中からも観光客が京都に来てこの祭りを見学するのである。

台湾にはこのような種類の祭りがあまりないと思われることから、日本の伝統文化に直接肌で触れるよい機会だと思い、今回の研修旅行をこの期間にさせていただくようお願いし、実現の運びとなったのである。

今回の京都造形芸術大学での研修は大きく分けて、5つの大きな収穫、成果があったと思う。それは、1)日本人学生との共同生活、2)日本の大学で授業に参加する、3)日本の伝統芸術に触れる、4)日本の伝統文化に触れる、そして5)日本での生活体験を得るというものである。これらのひとつひとつが学生にとって、今後の学習のみならず、将来にも大きく影響を及ぼすであろう要素であり、これら5つの収穫が学生にとってどれほど大きな意義あるものであったかということは、2週間の研修を終えた学生の言葉、「すばらしかった」に集約されていると思う。

台湾に帰国する日の早朝、下宿先に泊めてくれた日本人学生と本校の学生が別れ際に涙した、ということからもこの研修が単なる日本を学ぶという学習にとどまらず、学生一人一人が日本人学生と心の国際交流をおこなって、絆を深めたということが今後の

学生の財産になり実りになって、将来に役立ててもらえればと願うのである。

国立台中技術学院応用日語系
堂坂順子 助理教授 引率

2010年京都造形芸術大学 研修 説明会 2010/6/4 (金)

1、資料配布

- 出発時間の確認
- 現地での日程
- 出発時間と送迎費用について: 台中—空港 関西空港—大学/旅館

- パスポートの有無確認
- パスポートの有効期限を確認

2、ホームステイ

- あいさつをきちんとすること
- 積極的に手伝えること
- 洗面所の使い方に注意すること
- お土産を持参すること
- 台湾の写真、家族の写真、大学の写真などを持参すると良い

- 京都造形芸術大学に提出するホームステイに関する資料の提出

3、先生方の滞在

- 引率はなし
- 自由行動、もしくは学生の活動に参加
- 宿泊先について
 - コインランドリーあり
 - お風呂、お手洗いは共同
 - 7/8-7/12：和室3部屋
 - 7/12-15：3部屋
 - 7/15-16：ツインの部屋2つ (Anex Hiraiwa)
旅館 平岩
 - 7/17-22：旅館 平岩 和室4部屋

重要：薬の持参

日本円は事前に換金しておくこと。

帽子と傘の持参